



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社アルファパーチェス 上場取引所 東
 コード番号 7115 URL <https://www.alphapurchase.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 兼 CEO (氏名) 多田 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 齋藤 正弘 TEL 03-6628-8453
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 12,258 | - | 340 | - | 332 | - | 236 | - |
| 2022年12月期第1四半期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 236百万円 (-%) 2022年12月期第1四半期 -百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 25.10 | 24.61 |
| 2022年12月期第1四半期 | - | - |

(注) 当社は、2022年12月26日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したことに伴い、業績開示は2022年12月期第3四半期から行っているため、2022年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第1四半期対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 13,395 | 4,691 | 35.0 |
| 2022年12月期 | 15,284 | 4,594 | 30.1 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 4,690百万円 2022年12月期 4,593百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | - | 0.00 | - | 15.00 | 15.00 |
| 2023年12月期 | - | - | - | - | - |
| 2023年12月期（予想） | - | 0.00 | - | 18.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 48,600 | 9.5 | 950 | △8.8 | 948 | △4.7 | 677 | △3.8 | 71.74 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------------|------------|---------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期 1 Q | 9,448,500株 | 2022年12月期 | 9,436,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期 1 Q | -株 | 2022年12月期 | -株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期 1 Q | 9,437,567株 | 2022年12月期 1 Q | 8,248,139株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

<https://www.alphapurchase.co.jp/ir/>

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の5類への移行方針を受けた人流回復や国内外の入国制限の緩和などによる経済活動の制限の緩和が進んだことなど、経済活動正常化に向けた動きが加速しました。一方で、ウクライナ戦争に起因する資源価格の高騰やドル高による輸入インフレは継続し、さらに半導体不足については緩和される方向にあるものの、過剰な半導体製品と不足の半導体製品が混在するなど、先行きについては依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループのセグメントのひとつであるMR0 (Maintenance, Repair & Operations) 事業に関する工具、消耗品、安全用品、修繕部品、文房具などの間接材の市場では、製造業の復調、オフィスや商業施設への人の流れの回帰などが寄与し、安定した成長を持続することができました。もう一つのセグメントであるFM (Facility Management) 事業に関する国内商業施設向けサービス市場では、小型商業店舗の改装案件が一巡したものの、アフターコロナの人流回復やインバウンド需要の回復を見込んだビジネスホテルなどの大型改装案件が急回復し、ドラッグストア向けの改装案件も増加するなどの要因で、売上は拡大しました。

以上のような環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は12,258百万円、営業利益は340百万円、経常利益は332百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は236百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行うMR0事業においては、主要顧客群である製造業の復調による工場の稼働増や顧客グループ会社の需要の取り込みが進み、安定した成長を持続しました。サービス業の事業所向けでは、新型コロナウイルス感染症対策商品が減少する一方、オフィスや商業施設への人の回帰傾向を受けて事業所用消耗品の売上が増加しました。親会社を経由する中小事業所向けの卸販売に関しては、市場での価格競争が厳しく、大企業向けと比べて売上は伸び悩みました。これらの結果、MR0事業の売上高は9,263百万円、セグメント利益は182百万円となりました。

商業施設向けにサービスの提供を行うFM事業においては、多店舗展開のコンビニエンスストアやファストフード店などの小型店舗の改装案件が、一部で前年比減の傾向となったものの、アフターコロナの人流回復やインバウンド需要の回復を見込んだビジネスホテル等の大型改装案件が急回復し、ドラッグストア向けの改装案件も増加するなど、売上構成の変化を伴いながら、総売上は拡大しました。この結果、FM事業の売上高は2,974百万円、セグメント利益は138百万円となりました。

その他事業は、当社の子会社であるATC株式会社のソフトウェア事業が中心であり、同社が高度なノウハウを持つMDM (Master Data Management) 関連の外販事業が好調で、売上高は20百万円、セグメント利益は19百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,853百万円減少しました。棚卸資産が200百万円増加し、現金及び預金が1,797百万円、売掛金及び契約資産が189百万円減少したことが主な要因です。現金及び預金の減少は主に負債項目の買掛金の減少に対応するものであり、前連結会計年度末が休日であったことによる支払日の移動によるものであります。固定資産は2,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。無形固定資産が27百万円増加し、有形固定資産が13百万円、投資その他の資産が50百万円減少したことが主な要因です。これらの結果、総資産は、13,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,889百万円減少しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,969百万円減少しました。これは未払消費税等が18百万円増加した一方で、買掛金が1,608百万円、未払法人税等が148百万円、賞与引当金が100百万円、1年内返済予定の長期借入金が84百万円減少したことが主な要因です。固定負債は94百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少しました。これは主に長期借入金が17百万円減少したことによるものです。

これらの結果、負債合計は、8,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,986百万円減少しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益236百万円の計上による増加、剰余金の配当141百万円による減少が主な要因です。これらの結果、自己資本比率は35.0%（前連結会計年度末は30.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,797百万円減少いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,316百万円の支出超過となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益332百万円、売上債権の減少額183百万円、減価償却費141百万円の収入要因があった一方、仕入債務の減少額1,608百万円、棚卸資産の増加額200百万円、法人税等の支払額203百万円、賞与引当金の減少額100百万円の支出要因があったこと等によるものであります。棚卸資産の増加は、輸入商品の品種の増加と、調達リードタイム長期化に対応した在庫水準の積み増しが要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、222百万円の支出超過となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出56百万円、当社グループの内製ソフトウェア開発増加に伴う無形固定資産の取得による支出165百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、258百万円の支出超過となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出102百万円、配当金の支払額141百万円の支出要因があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,896,783 | 2,099,159 |
| 売掛金 | 7,460,702 | 7,232,672 |
| 契約資産 | 118,442 | 156,936 |
| 電子記録債権 | 54,889 | 60,705 |
| 商品 | 1,092,280 | 1,275,570 |
| 仕掛品 | 2,980 | 2,210 |
| 貯蔵品 | 642 | 402 |
| 未成工事支出金 | 94,193 | 112,159 |
| その他 | 191,532 | 117,866 |
| 貸倒引当金 | △767 | - |
| 流動資産合計 | 12,911,681 | 11,057,684 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 84,656 | 84,656 |
| 減価償却累計額 | △41,501 | △43,150 |
| 建物及び構築物（純額） | 43,155 | 41,506 |
| 工具、器具及び備品 | 333,364 | 333,364 |
| 減価償却累計額 | △211,933 | △223,398 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 121,431 | 109,965 |
| 有形固定資産合計 | 164,586 | 151,472 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,327,710 | 1,520,802 |
| ソフトウェア仮勘定 | 464,890 | 299,780 |
| 無形固定資産合計 | 1,792,601 | 1,820,583 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 4,386 | 4,386 |
| 差入保証金 | 246,423 | 246,851 |
| 繰延税金資産 | 160,370 | 109,710 |
| その他 | 5,067 | 4,876 |
| 貸倒引当金 | △408 | △408 |
| 投資その他の資産合計 | 415,839 | 365,417 |
| 固定資産合計 | 2,373,027 | 2,337,473 |
| 資産合計 | 15,284,708 | 13,395,157 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,628,260 | 8,019,597 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 137,992 | 53,328 |
| 未払金 | 323,141 | 260,356 |
| 未払法人税等 | 195,745 | 47,518 |
| 未払消費税等 | 37,269 | 55,664 |
| 契約負債 | 27,106 | 31,207 |
| 賞与引当金 | 126,176 | 25,381 |
| その他 | 102,684 | 116,292 |
| 流動負債合計 | 10,578,376 | 8,609,345 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 76,684 | 58,908 |
| 長期契約負債 | 4,195 | 4,195 |
| 資産除去債務 | 30,701 | 30,701 |
| その他 | 557 | 557 |
| 固定負債合計 | 112,137 | 94,361 |
| 負債合計 | 10,690,514 | 8,703,707 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 523,044 | 524,004 |
| 資本剰余金 | 725,766 | 726,726 |
| 利益剰余金 | 3,344,644 | 3,439,980 |
| 株主資本合計 | 4,593,455 | 4,690,711 |
| 新株予約権 | 738 | 738 |
| 純資産合計 | 4,594,194 | 4,691,450 |
| 負債純資産合計 | 15,284,708 | 13,395,157 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|------------------|---|
| 売上高 | 12,258,818 |
| 売上原価 | 11,051,366 |
| 売上総利益 | 1,207,452 |
| 販売費及び一般管理費 | 867,131 |
| 営業利益 | 340,320 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 6 |
| その他 | 426 |
| 営業外収益合計 | 433 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 97 |
| 為替差損 | 7,655 |
| その他 | 85 |
| 営業外費用合計 | 7,839 |
| 経常利益 | 332,914 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 332,914 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,371 |
| 法人税等調整額 | 50,659 |
| 法人税等合計 | 96,031 |
| 四半期純利益 | 236,883 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 236,883 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 当第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日） |
|-----------------|---|
| 四半期純利益 | 236,883 |
| 四半期包括利益 | 236,883 |
| （内訳） | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 236,883 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 332,914 |
| 減価償却費 | 141,706 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △767 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △100,795 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6 |
| 支払利息 | 97 |
| 為替差損益（△は益） | △20 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 183,720 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △200,246 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △1,608,663 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 19,196 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 18,394 |
| その他 | 101,792 |
| 小計 | △1,112,675 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6 |
| 利息の支払額 | △127 |
| 法人税等の支払額 | △203,795 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,316,592 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △56,115 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △165,713 |
| 差入保証金増加による支出 | △428 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △222,258 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △102,440 |
| 株式の発行による収入 | 1,920 |
| 上場関連費用の支出 | △16,726 |
| 配当金の支払額 | △141,547 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △258,793 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 20 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △1,797,624 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,896,783 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,099,159 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|---------|-----------------------|
| | MRO事業 | FM事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 一時点で移転される 財又はサービス | 9,195,198 | 2,636,402 | 11,831,601 | 4,228 | 11,835,830 | - | 11,835,830 |
| 一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス | 68,753 | 338,188 | 406,941 | 16,046 | 422,988 | - | 422,988 |
| 顧客との契約から生じ る収益 | 9,263,952 | 2,974,591 | 12,238,543 | 20,275 | 12,258,818 | - | 12,258,818 |
| 外部顧客への売上高 | 9,263,952 | 2,974,591 | 12,238,543 | 20,275 | 12,258,818 | - | 12,258,818 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | - | - | - | 54,360 | 54,360 | △54,360 | - |
| 計 | 9,263,952 | 2,974,591 | 12,238,543 | 74,636 | 12,313,179 | △54,360 | 12,258,818 |
| セグメント利益 | 182,333 | 138,094 | 320,427 | 19,892 | 340,320 | - | 340,320 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア関連業を含んでおりま
す。